

平成30年度八尾市総合防災訓練に参加！

H30. 8. 26

～ 大和川河川事務所 ～

平成30年度八尾市総合防災訓練が、災害時における防災関係機関の相互協力体制の確立及び市民の防災意識の高揚を図ることを目的として開催されました。訓練には一般来場者合わせて約400名が参加し、地域住民の避難訓練、水防工法訓練等の実働訓練、集中豪雨体験、避難所体験、土嚢作成体験及び各関係機関展示等が行われました。

大和川河川事務所からは、「洪水時の避難に備える講演」や、安全に避難するための早期避難に対する重要性に気づいてもらえるように、浸水後に避難した場合を想定した「水中歩行体験」「水没ドア開閉体験」コーナーを設け、危険性を体感していただきました。また、夜間における災害現場等の照明として使用する照明車の展示、パネルによる事務所の紹介を行いました。

防災総合訓練の様子



開会式の様子

概要

- 日時：平成30年8月26日（日）
10:00～12:00
9:00～地域住民の避難訓練等
- 会場：八尾市若林町3丁目
八尾市立大正コミュニティセンター
若林第2公園



講演(洪水に備えて)



水中歩行体験コーナー・水没ドア開閉体験コーナー



照明車の展示

○水中歩行体験者のコメント

- ・泥水だと水中の障害物が目で確認できないため歩くのがこわかった。
- ・杖や手すりがないと歩けない。
- ・傘が杖の代わりに使えるのは勉強になった。
- ・水深20cmでも歩くのがこわい。もっと深いと感じた。
- ・障害物で転びそうになった。
- ・道路が浸水する前に避難することが大切だと思った。
- ・今日は天気も良く、昼間のため、多少足元が見えなくても歩けるが、実際に避難する際は夜間の雨の中ということもあり得るため、こわいと感じた。

○水没ドア開閉体験者のコメント

- ・水深が10cm変わるだけで水圧が大きく変化することに驚いた。
- ・ドアを開け、水が家に流れ込むと、さらに開ける力が必要になると感じた。
- ・ドアを逃げるまで開け続けることが難しいことが体験できた。
- ・机上の勉強とは異なり、新鮮な体験だった。
- ・ドアに力をかけにくいと、開けにくいことが体験できた。
- ・水深が深くなると家に入ってくる水の勢いが強くなる。
- ・車に乗車している場合のアンダーパスでの水没をイメージし、どのように逃げるべきか考えさせられた。
- ・自衛官として救助される方の状況を体験できてよかった。



大和川河川事務所パネル紹介



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33 TEL 072-971-1381